～ふくしまの歴史と文化財～

文字摺通信

第　１２０　号
２０２６年　９月１５日
発行:文字摺歴史文化社

七夕さま、彦星・織姫の逢瀬の時間は？



朝日新聞の福島版天気予報蘭の下段を毎日切り抜いています。８月１９日（水）は旧暦の７月７日、七夕様の日でした。この欄には福島市の太陽と月の出入の時刻と月齢が書かれています。旧暦の７月７日の例が下の写真です。８月 12 日から 19 日までの８日間をまとめたのがその下の表です。日の出は前日より１分ほど遅れていきます。日没は逆に１分ほど早くなり、昼の時間が２分ほどずつ短くなっていくのがわかります。それに対して月の出入りは複雑で、表の通りになっています。この切り抜きを１年間やってみようかと思っています。そうすると月の出入りも何らかの法則のような規則が見えて来るのではないかと思っています。

特に月の出入りに興味・関心があります。２３夜講などの月待ち講は月の出まで皆と一緒にいられるのです。旧６月２３日の月の出は２１時５３分、１０時近くまでワイワイ・ガヤガヤ、おしゃべりをする時間です。季節によっては１２時近くの月もあるようです。ちなみに旧の６月 19 日の月の出は１８時４７分、この月の十九夜様は、集ったらすぐ解散するような月の出時刻でした。

さて、七夕様の月齢は６．４。月齢は１日遅れるとほぼ１変わります。ですから同日でも１２時間過ぎると０．５変わります。この６．４という月齢は何時の時点での月齢なのでしょうか。ご存知の方教えてください。七夕の日の月齢は７前後です。ということは、上限の月ということ。



舟の形をしています。彦星はこの上弦の月の舟に乗って天の川を渡り、織姫に逢いに行きます。この日の月の出は１１時４４分、正午近くですからあまりよく見えません。はっきり見えるのは日没（この日の日の入りは１８時 26 分）後ですから１９時ごろでしょうか。でも月の入りが 21 時 33 分ですから、天の川を渡るのに 30 分かかったら、往復すると彦星と織姫がデートできる時間は１時間半ほどしかないことになります。せっかく１年間待ったのに・・・・。

新暦	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日
旧暦	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日
日出	4時51分	4時51分	4時52分	4時53分	4時54分	4時55分	4時56分	4時57分
	1分遅い	同じ	1分遅い	1分遅い	1分遅い	1分遅い	1分遅い	1分遅い
日入	18時35分	18時34分	18時33分	18時32分	18時30分	18時29分	18時28分	18時26分
	2分早い	1分早い	1分早い	1分早い	2分早い	1分早い	1分早い	2分早い
月出	3時48分	5時04分	6時16分	7時25分	8時31分	9時36分	10時40分	11時44分
	78分遅い	76分遅い	72分遅い	69分遅い	66分遅い	65分遅い	64分遅い	64分遅い
月入	18時21分	18時52分	19時20分	19時45分	20時09分	20時35分	21時02分	21時33分
	38分遅い	31分遅い	28分遅い	25分遅い	24分遅い	24分遅い	27分遅い	31分遅い
月齢	28.7	0.4	1.4	2.4	3.4	4.4	5.4	6.4